



## べっぴん終活あんしんサポート事業

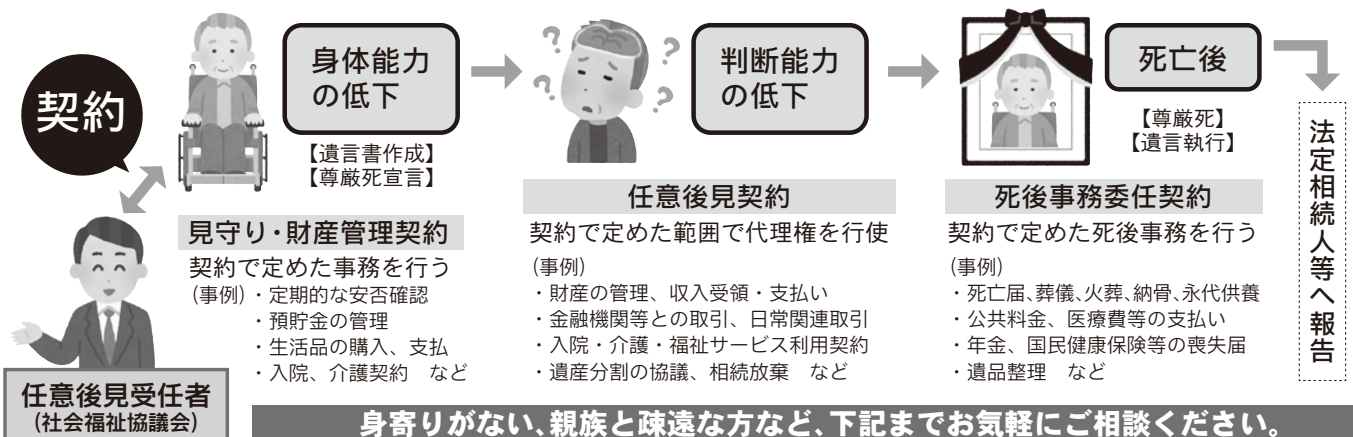
### 転ばぬ先の杖、あなたの老後の安心をお手伝い

身寄りがないなど老後の生活を心配に思っている皆さま、別府市社会福祉協議会が行う「べっぴん終活あんしんサポート事業」の利用を考えてみませんか。

#### 主な事業内容

- 任意後見制度(移行型)等を活用し、別府市社会福祉協議会が本人と任意後見契約を結び、本人の判断能力が衰えたら、別府市社会福祉協議会が後見人となって本人の権利と財産を守ります。
- 後見人の仕事は本人死亡までなので、本人と死後事務委任契約を結び、死亡届、葬儀、火葬、納骨、公共料金・医療費等の支払、官公庁への諸届、遺品の整理など死後の一切の事務を引き受けます。
- 施設入所や病院への入退院の際に、必要な物の準備や付き添い、緊急連絡先の指定、貴重品の預かり、入院費等必要経費の支払い等、身寄りがなく不安を抱える方への入所入退院時サービスを提供します。

任意後見制度を活用し、「任意後見契約」に加えて、「見守り契約」、「財産管理契約」、「死後事務委任契約」、さらに「遺言」を組み合わせるほか、最近注目されている「尊厳死宣言」も公正証書で作成すれば、老後の支援の空白期間がなく安心して人生を送ることも可能です。



身寄りがない、親族と疎遠な方など、下記までお気軽にご相談ください。

【問合先】別府市社会福祉協議会(別府市成年後見支援センター) ☎ 0977-73-6070 FAX 0977-76-8155

## ちよいボラ 身周りのちょっとしたことで困っている方 ご利用してみませんか?

#### 活動内容

身の周りの環境美化や軽作業を、自分ではできなくて困っている時に、登録ボランティアの方が、可能な範囲で代行するサービスです。活動時間は、庭掃除・ちょっとした草むしり・ゴミ出し・買い物・お話相手・電球交換などおおよそ30分以内を目安にしています。

#### 対象者

別府市在住の世帯の方で、自分たちだけでは作業が難しい方。

\* 利用には条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。



活動していただけるボランティアさんも、随時受け付けております。

【問合先 地域福祉係】

## 第72回

# 社会を明るくする運動 強化月間

～犯罪や非行を防止し、  
立ち直りを支える地域の力～

#生きがいを  
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ  
第72回 社会を明るくする運動

全ての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。別府市でも市内17地区社協が中心となってパレードや三世代交流事業などを行っています。

※コロナ感染状況によっては、行事の延期または中止する事があります。



令和4年度

## 夏のボランティア体験月間のお知らせ



毎年7月～8月を『ボランティア体験月間』と位置づけ、県内の生徒・学生及び社会人等を中心にボランティア活動に参加・体験することにより、子どもから高齢者までさまざまな人の福祉や地域課題に気づき、理解し、多様なものの考え方ができ、人間性の向上やコミュニケーションによる自らの魅力を引き出すきっかけづくりを推進し、ボランティア活動への積極的な参加を促します。

「ボランティア…興味はあるけど、きっかけがつかめない」「将来福祉関係の仕事に就きたいと思っている」「いろいろな人と接してみたい」などなどボランティア初心者の方この機会に参加してみませんか。

- 【1】活動場所：県内の福祉施設(高齢者・障がい者・児童・保育)
- 【2】参加対象者：県内に在住する児童・生徒・学生又は社会人(受け入れ施設により異なります)  
なお、ボランティア活動保険(200円)の加入が必要です。
- 【3】募集人員：1施設1～3名程度(施設により異なります)
- 【4】活動期間：7月21日～8月31日(原則として1人3日間以内)
- 【5】参加料：無料(但し、施設までの交通費等は参加者負担)
- 【6】申込書：社会福祉協議会に設置及び別府市社協ホームページからダウンロード可能
- 【7】申込締切：受け入れ施設の申し込み締め切りに準じます。  
また、定員に達しない場合は随時受付ける施設もあります。
- 【8】問合せ先：別府市社会福祉協議会(月～金 8:30～17:00) 電話 26-6070



地震だ! 台風だ! 豪雨だ!

## その時、地域はどうする!?

別府市生活支援体制整備事業 市民講演会

令和4年7月22日(金) 14:00～15:30  
別府市公会堂 2F 大ホール

近年、全国的に多くの自然災害が発生し甚大な被害をもたらしています。県内でもこの10年で多くの災害が発生しています。災害時に要配慮者(高齢者や障がい者、子どもなど)の方々が、地域のつながりがあることで、避難するときも避難生活終了後の日常生活に戻るときも、安全かつ迅速に移行することができます。「災害に強く、将来にわたり安心して暮らせる持続可能なまちづくり」をするために住民主体の生活支援体制の構築につながるヒントをお話しいたします。



神戸大学名誉教授  
日本防災士会理事長

むろ さき よし てる  
室崎 益輝 氏

お電話又はホームページの申込フォームからお申込みください。  
こちらのQRコードから申込出来ます。



上記お問い合わせは☎26-6070 別府市社会福祉協議会まで

# ご寄付ありがとうございました (5月1日から5月31日まで)



## ▼香典返し (敬称略)

- ～謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます～
- ・3万円 (亡母 小名川佐與子) ……那須 恵子
  - ・金一封 (亡父 信也) 石垣東1丁目  
……………宇都宮隆信
  - ・1万円 (亡母 巳生子) 原町……………伊藤 洋介
  - ・3万円 (亡父 幹男) 鶴見園町……………坂本 光代
  - ・3万円 (亡母 溝部文子) 内竈……………手嶋 己利
  - ・金一封……………匿名
  - ・3万円 (亡母 えり子) 南立石生目町  
……………荻葉 一平
  - ・3万円 (亡母 八重子) 石垣東1丁目  
……………後藤 峰孝
  - ・3万円 (亡父 茂美) 石垣西6丁目  
……………阿部 雅夫
  - ・3万円 (亡夫 清信) 亀川中央町  
……………古賀シズ子

・金一封 (亡母 ユキ子) 平田町……………本田 友子

## ▼一般寄付 (敬称略)

- ・5000円 (地域福祉の為に) ……………匿名
- ・5000円 (地域福祉の為に) ……………匿名

## 法人会員のご紹介【5月1日～5月31日受付分】(敬称略)

～ご協力ありがとうございました～

別府市医薬品小売協同組合  
株式会社コスモレンタル  
朝日警備保障株式会社  
別府朝日園

## ▼フードドライブ (敬称略)

匿名希望の3名にご協力いただきました

## 皆で後見、地域に貢献

# こうけん相談室

vol.9

問合先

別府市成年後見支援センター  
☎0977-73-6070



父の財産管理のために、成年後見制度の申立てが必要になりました。  
息子である私は、父の成年後見人になれますか？



申立書に、「成年後見人候補者」を記載する欄があり、親族の方を候補者として申立てすることができます。ただし、申立て時の候補者が必ず選任されるというのではなく、申立書類や本人等への面接調査等により、本人に最もふさわしい人を家庭裁判所が決定します。  
なお、本人に高額の預貯金がある場合で、家庭裁判所が日常的な支払いに必要な金銭を預貯金等として後見人が管理し、残りの通常使用しない金銭を信託や別口座の預貯金で管理することが相当と判断した場合は、信託契約等のため専門職後見人(弁護士等)が一時的に選任される場合があります。

こま おお せいり  
困っていることが多すぎて整理できないなど…

## ひとりで悩まず 話してください



【対象者】市内に住んでいて、生活に「悩み」や「不安」のある方。

自立に向けた支援を希望される方。

※生活保護を受けている方は対象外です。

【相談窓口】別府市自立相談支援センター  
(別府市社会福祉協議会内)

【相談時間】平日 9:00～16:00

※土、日、祝日、年末年始を除く

【電話番号】0977-26-6070 ※要予約

相談無料

秘密厳守

## 認知症と共に生きる2022

### 『トイレ拒否がみられたら…』



トイレを促しても拒否するのに、結局はトイレを失敗してしまったり、トイレの介助をしようとしても拒否されることもあります。

排泄に関することは、ご本人の尊厳にも深い関りがあります。ご本人にとっては、トイレの介助などをされることに対して、羞恥心や拒否感があるのは当たり前のことです。ご本人の気持ちを理解したうえで介護することが大切です。



### 対応のヒント



- プライバシーの配慮をする
- 声かけはやさしく穏やかに
- 「私もトイレに行くだけ一緒にいかない？」やご飯を食べて一息ついたらトイレ、寝る前にトイレなど習慣化しておくのも認知症の方には○
- トイレを明るく、きれいにしておくなど恐怖感が起らない配慮をする

- 無理やりトイレにいかせる・服を脱がせる
- 大勢の前で声をかける、誘導する
- 怒る・怒鳴る
- プライバシーの確保ができていない
- トイレが怖いという方も…



上記お問い合わせは☎26-6070 別府市社会福祉協議会まで

## 地域に活気! 活動に元気! ～地区社協活動紹介～

### 石垣東6丁目いきいきサロン(石垣地区社協)

毎月第3土曜日午後より石垣東6・7丁目公民館で開催しています。参加者は石垣東6丁目、7丁目の住民です。引きこもりがちな高齢者の方に、興味をもって参加してもらえるよう、福祉協力を中心に事前準備を含め、プログラムを計画し、毎月の会報で案内をしています。

以前は、路線バスを使っての三旅行や市の美術館鑑賞会などもしていました。最近では、脳トレや季節行事に関する工作など、公民館での活動が主になっています。

興味のある方は、石垣東6丁目自治会長へ連絡ください。



2月にはドングリや  
広告紙などを使い、  
雛飾りを作りました

特殊詐欺の注意喚起を  
受けている様子



赤い羽根共同募金は地区社協活動を支援しています

## 地域のために活動する 「公益財団法人すみれ学級」を紹介します!

**別府はるかぜ教室**  
別府高齢者総合ケアセンターはるかぜ内  
月・水・金 17時～20時

**別府はるかぜ教室 進学教室**  
中学1年～3年生  
土曜 11時～14時

**野口ふれあい子どもカフェ**  
野口ふれあい交流センター  
日曜 10時～12時

問合せ:事務局  
TEL 097-585-5865

英会話教室  
(別府はるかぜ教室)  
夕食  
(別府はるかぜ教室)



別府市内で「こども食堂」を開いて4年が経ちます。お腹いっぱい食べて、遊んで、学んで、ゆったり過ごせる場所です。小・中学生は無料で利用できます。

スタツフは、社会人や別府大学・立命館アジア太平洋大学の学生です。こども達といっしょに和気あいあいと過ごしています。

ゲームや工作を交えたマイク先生の英会話教室がこども達に人気です。お誕生日会や季節の行事はみんな楽しんでます。これからもこどもが自分の夢に向かって歩いてゆけるように、健康やかに成長できるように活動を続けてまいります。

※別府市社協は、『別府っ子応援アクション』として子どもを中心とした居場所づくりに取り組む方々を応援しています。また、一緒に応援する企業、団体一般の方を募集しています。詳しくは地域福祉班へ。



温たまさん&だいふくんの

### 健康についてのお知らせ

小4中2の健康チェック!



- (温) 別府市は全国に比べて肥満の子どもの多いうって知ってた?  
(温) そうだよ! 学校保健統計調査によると、別府市の子ども(小学1年生から中学3年生まで)の肥満傾向児(肥満度20%以上の児)の割合が、全国平均に比べて高いことが分かっているんだ。
- (温) 子どもが肥満だとなぜいけないの?  
(温) 子どもの肥満は、大人の肥満に移行しやすいことが知られているんだ。肥満の状態が長く続くと、生活習慣病(2型糖尿病、脂質異常症、高血圧)になって、ゆくゆくは脳梗塞や心筋梗塞といった重い病気にかかる可能性が高くなるんだ。
- (温) へえ～! 何か対策はしているの?  
(温) 別府市では、小学4年生と中学2年生の希望者を対象に、毎年7月から9月の間、身体測定や血液検査などの「健康チェック」を行っているよ。対象者のご家庭には、6月末までに通知が届くんだ。
- (温) そうなんだ。子どもの体の状態を知ることができる重要な機会なんだね。だいたいどのくらいの人たちが受診しているの?  
(温) 昨年は、小学4年生・中学2年生、ともに約6割の人たちが受診していたよ。
- (温) 是非もっと多くの人たちに受診してもらいたいね!  
(温) 市内の医療機関で受けられるから、おうちの人も子どもと一緒に、是非ご自分の特定健診やがん検診などを受けてください。

## 7月行事予定

- \* 福祉会館・あすなろ館 10月分予約  
福祉会館・あすなろ館  
受付開始 1日(金)～
- \* 認知症サポーター養成講座  
19日(火) 10:00～  
社協会議室(社会福祉会館内): 要申込
- \* ちょいボラ養成講座 19日(火) 13:30～  
社協会議室(社会福祉会館内): 要申込
- \* 終活相談 21日(木) 13:00～  
別府市成年後見支援センター: 要予約
- \* 夏のボランティア体験月間  
21日(木)～8/31(水)まで
- \* 市民講演会 22日(金) 14:00～  
別府市公会堂: 要申込

※上記日程は諸事情により、変更することがありますので、ご参加の際には事前にお問い合わせください。



暑くなりました!「夏バテ防止に、うなぎを食べよう」と、平賀源内(江戸時代の蘭学者)が広めたと言う「土用の丑の日」。2022年は7/23(土)・8/4(木)ですね。そもそも、うなぎは冬が旬。それなのに何故、夏?それは、うなぎが売れずに困ったうなぎ屋店主が、当時「電氣うなぎ」実験もしていた源内に相談したのが始まりみたいです。今でいう「夏バテ防止にはうなぎを!」のキャッチコピーの広報戦略がヒットし、現代に至るまで私たちは源内マジックにかかっています。ともあれ、「う」のつく美味しく栄養価高い食材をいただき、暑い夏を乗り切りましょう!! (あめ★ぐみ)

## べっぴん社協だより 第339号

編集&発行 社会福祉法人 別府市社会福祉協議会  
別府市上田の湯町15番40号  
TEL(0977)26-6070 FAX(0977)26-6620  
<http://beppu-shakyo.or.jp/>



HP



LINE



Instagram